

# 2022年度(令和4年度)

## 人権尊重をめざす人権作品紹介

### 1. 人権作品 詩部門 《入選者》

野洲小2年 富田 優菜  
 篠原小4年 米山 美海  
 祇王小5年 加賀爪 穂香  
 北野小6年 小林 由奈

中主小3年 副田 昂那  
 北野小4年 井上 風真  
 祇王小5年 加賀爪 穂里

中主小4年 重野 心咲  
 中主小5年 河上 昭士  
 三上小6年 高崎 詩乃

#### 友だちっていいな

野洲小2年 富田 優菜

「あそぼう。」っていわれた。  
 友だちっていいな。  
 「てつだうよ。」といわれた。  
 友だちっていいな。  
 「だいじょうぶ。」といわれた。  
 友だちっていいな。  
 「またあした。」といわれた。  
 友だちっていいな。  
 「ありがとう。」ていった。  
 友だちがにこってしてくれた。  
 友だちっていいな。



#### がまんしなくていいんだよ

中主小4年 重野 心咲

いやなことをがまんしたら  
 ダメだよ  
 いやなことがあったらね  
 人に言えばすっきりするよ  
 なんでかって  
 がまんしたらね  
 しんどくなるから  
 だから楽しいことを考えて  
 楽しく遊んで  
 がまんしなくていいんだよ

#### 一人の行動が世界へと…

北野小6年 小林 由奈

相手を大切にすると  
 その相手はきっとだれかを大切に  
 そのことをずっと続けていればきっといつかは  
 だれもが幸せになれるにちがいない  
 いつかきっと…  
 さあ自分から始めよう  
 世界中の人々が幸せになれる行動を



2. 人権作品 作文部門 《入選者》

ちゅうずしょう ねん きたら ここ あ  
中主小5年 北浦 心愛  
ぎ おうしょう ねん よしだ さな  
祇王小6年 吉田 紗那  
やすちゅう ねん くがい みゆ  
野洲中2年 久貝 美愉  
やすちゅう ねん やまだ しゅんや  
野洲中3年 山田 隼也

やしゅう ねん こいけ にこ  
野洲小5年 小池 二瑚  
ぎ おうしょう ねん くろかわ れお  
祇王小6年 黒川 怜央  
やすきたちゅう ねん おかもと しょうた  
野洲北中2年 岡本 翔太

きたのしょう ねん もり はづき  
北野小5年 森 葉月  
やしゅう ねん まつむら まほ  
野洲小6年 松村 真歩  
やすちゅう ねん たきざわ かな  
野洲中3年 滝澤 花菜

地球と同じ重さの命

野洲小5年 小池 二瑚

いま、世界ではたくさんの人が亡くなっています。戦争、殺人、自殺、事故、コロナ。人が亡くなることを見聞きする毎日に、「命の重さ」を考えるようになりました。

私は、今とても元気ですが、生まれなかった可能性があったそうです。母の妊娠中におなかの中で、死んでしまうことが予想され、病院の先生、母、父は私の命を守るために必死になった日々があった話を聞きました。奇跡的に私は元気に生まれましたが、命の大切さに気づくきっかけになりました。

父と母に、なぜか私の命を守ったのか、質問をすると、二つの答えを返してくれました。

一つは「このことをのりこえ、命を大切にできる人に育ってほしいという願いを持ったから」という答えでした。

もう一つは、命をテーマにした曲を教えてくださいました。宮沢和史作「一つしかない地球」です。

この曲にはこのような詩が書かれています。

一人の力小さいけれど  
君といっしょならできるはず  
ひとつしかない地球の上で  
ぼくらの笑顔が花になる  
一人一つずつの命  
地球と同じ重さの命



この曲を何度も何度も聞きました。「私の命は、地球の重さと同じ」そのくらい重たく尊いものだ学びました。友だちも、先生も、動物も生きているものすべて命の重さは同じはず、きっと、どんな命でも「思い」や「意味」があるのではないかと思っています。

みんなに生かされた私の一度きりの人生です。私を通して笑顔になれる人が一人でもいてほしいです。そして私自身が笑顔で輝ける人生をつくりたいです。

私の妹

野洲中2年 久貝 美愉

私には障がいがある妹がいます。妹はまだ生まれてそんなに日が経っていない頃にヘルペスが脳に行き、ヘルペス脳炎という病気になりました。双子なので私も幼く全然詳しくは分かりませんが、今もその後遺症と闘いながら生活しています。朝と夜にはたくさん

の薬を飲んで二週間に一回は検診をして、一か月に一、二回は歩くりハビリなどを行っています。水分は胃につながっているチューブで、ご飯は離乳食のようにきざんだものを食べてしまいます。妹は車椅子を使っているのですが、みんなみたいに歩いたり、走ったりすること



ではできません。

それに、私が友だちと普通に会話するよう  
なこともできません。ですが会話ができな  
い、言語を使わない、みんながイメージする  
としたら「喃語、赤ちゃん言葉」みたいな感じ  
なので「全くしゃべらない」とかそういうわけ  
ではないから言葉を交すことはできないけど  
話すことはできない訳じゃないんです。うれ  
しかったり、楽しかったりしたら喜ぶし、嫌  
なことがあったら怒るし、悲しい事があつたら泣  
きます。そこはみんなと変わりません。  
学校も、同じように養護学校に行きます。そ  
れにデイサービス、障がいがある子たちが集  
まって遊ぶ場所にも行って友だちと遊びま  
す。ですがおふるは親に入れてもらうか、ヘル  
パーさん、入浴介助をしてくれる人が来て  
入れてもらうことがたまにあります。

私と妹は家族なのでもちろん同じ家で過  
ごすし、買い物や旅行を家族で行くときは一  
緒に行きます。

そういう風に外出をした時、妹は車椅子を  
使うのでエスカレーターや階段は利用できな  
いし、小さい子から「なんでこれつかっているの？」  
と聞かれることも、まだ障がいについて  
理解があまりされていないので、何か汚い

ものを見るような目で見てくる大人もいます。

私が一番記憶に残っている言葉がありま  
す。それは、家族で買い物に来ている人たち  
の中で女の人が自分の子どもに対して言って  
いた言葉です。「見なさいあんなたち、あんな  
風にならなくてよかったわね。」という言葉で  
す。その女性はそれを言った後に指を差しな  
がらこっちを見てくすくす笑っていました。

みなさんは私の妹の事を可哀想だと思  
いますか？私は少なくともそんなことは思いま  
せん。むしろ誇りに思います。妹は少しで  
も楽に生活を送れるように泣きながらも頑  
張ってリハビリなどを行っています。私が伝え  
たかったことは、「障がいを持っているからと  
いって何もできないと決めつけてほしくな  
い、みんなとの共通点もたくさんある、この  
作文を通して障がいについて少しでも考  
えてほしい。」ということです。私にとっては普通  
の日常でみんなと変わらない、妹なんだっ  
て事が伝わらばうれしいです。

私は家族や友だちなどに障がい者がいる人  
たちがこういう風に意見を主張することに  
よって障がいへの理解が広がっていくんじ  
ゃないかおもいます。少しでも障がいに対  
する偏見や差別がなくなるといいと思います。

### 3. 人権作品 標語部門 《入選者》

そのことば じぶんにもかって いえますか  
育てよう さべつに気づく ここ3の目  
だいじょうぶ みかたがいるよ あんしんして  
いじめして あなたはされて どう思う  
ちがいは 生まれもった 宝物  
広がって コロナじゃなくて 思いやり  
「知る」ことで 減るのは差別と 無関心  
無意識から 生まれる「差別」を 意識しよう  
知ることが 差別をなくす 出発点  
多様性 未来に広がる 可能性

や すしろう ねん 野洲小2年	なかむら そう た 中村 颯太
ちゅうずしろう ねん 中主小3年	かわばた る い 川端 琉生
きたのしろう ねん 北野小3年	たけはし め い 竹橋 芽泉
みかみしろう ねん 三上小4年	かわがしら み ぼる 川頭 美晴
ちゅうずしろう ねん 中主小6年	かりもり れ あ 刈森 玲綺
しのはらしろう ねん 篠原小6年	かがわ さとる 加川 悟
や すちゅう ねん 野洲中1年	こうの あ さき 河野 亜咲
ちゅうずちゅう ねん 中主中2年	はし ちと やまと 橋本 大和
や すちゅう ねん 野洲中3年	しら い な な 白井 那奈
や すちゅう ねん 野洲中3年	にしむら あや な 西村 綾菜



4. <sup>じん げん さく ひん</sup>人権作品 <sup>ふ もん</sup>ポスター部門 <sup>にゅうせんしや</sup>《入選者》



ちゅうずしょう ねん うらたに  
中主小1年 浦谷 そよ



きたのしょう ねん こはま りくと  
北野小1年 小濱 陸翔



ちゅうずしょう ねん なかじま あずみ  
中主小3年 中島 愛純



みかみしょう ねん しみず  
三上小3年 清水 はな



ぎおうしょう ねん とくや しいか  
祇王小4年 徳矢 詩果



しのはらしょう ねん ふじいけ まいこ  
篠原小5年 藤池 真依子



やすしょう ごちゅうがくぶ ねん  
野洲養護中学部1年  
なかの ひろあき  
中野 広明



ちゅうずしょう ねん おく ゆうすけ  
中主小6年 奥 優介



やすしょう ねん しみず  
野洲小6年 清水 ひかり